

「包括的支援体制の構築に向けた社会福祉法人等との協働に関する研究会」 今後の進め方とスケジュールについて

(1) 目的

包括的支援体制の構築（重層的支援体制整備事業の実施）に向けて、社会貢献事業やいきいきネットCSW、小地域ネットワーク活動、民生委員など大阪の特色を活かした取組のあり方を明らかにし、市町村と社会福祉法人等の協働をすすめる。

- ① 社会福祉法人（施設）の機能や役割を中心に議論
- ② 市町村と社会福祉法人等との協働の現状や、協働に向けた双方のニーズ把握
- ③ どのような協働の姿が望ましいか（理想）と、それを実現するための課題抽出
→本研究会での議論を踏まえ、市町村地域福祉計画に社会福祉法人等との協働を働きかけ、大阪の特色を活かした体制整備をすすめる。

(2) 進め方

① 既存の支援体制の現状と課題の整理

それぞれの立場から地域で何が不足・課題となっているのか把握するため、「災害（時支援を見据えた平時からの取組）」、「社会的孤立」、「貧困（食・住・仕事）」、「健康・福祉の文化や意識」等の4つを切り口に市町村、市町村社協、地域貢献委員会、施設に対し、調査を実施。

調査結果を踏まえ、府・府社協を中心に

- 施設の取組成果・課題
- レスキュー事業など事業別の現状・課題
- 社協活動や地域での現状・課題
- 地域貢献委員会（施設連絡会）での現状・課題
- 市町村における包括的支援体制に関する現状・課題

をまとめる。

② 研究

施設の役割と事業の強化（点を強くする）、社会福祉法人等と他の機関（市町村、民間、公営法人等）とのネットワークの構築（点から線へ）に向けた、あるべき姿について検討する。

③ 報告書の作成

上記内容を取りまとめ、市町村、社会福祉法人等へ展開

視点1：「災害（時支援を見据えた平時からの取組）」を通して見える生活課題

【現状と課題の洗い出し】

行政や社協、施設で、地域とともにどんな取組をし、どんな課題が見えているか

【研究】

行政からみた理想・課題
社協からみた理想・課題
施設からみた理想・課題

【目指すもの】

参加支援
▶ 見守りの新しい形
地域づくり
▶ 交流の拠点や仕掛け

▶ 課題

災害弱者の把握、予防し、いざというときに支える仕組みづくり

▶ 既存の取組

- ・ 備蓄
- ・ B C P の策定
- ・ 個別計画
- ・ 災害時ボランティアセンターの運営
- ・ 協定
- ・ そのほかの取組

行政ができること

社協ができること

施設ができること

視点2：「社会的孤立」に関する生活課題

【現状と課題の洗い出し】

行政や社協、施設で、地域とともにどんな取組をし、どんな課題が見えているか

【研究】

行政からみた理想・課題
社協からみた理想・課題
施設からみた理想・課題

【目指すもの】

相談支援

- ▶ コーディネート役
- ▶ 協議の場
- ▶ アウトリーチのあり方

参加支援

- ▶ カンファレンス
- ▶ 就労・居住・食の支援

地域づくり

- ▶ 相談拠点のあり方

▶ 課題

予防、ニーズキャッチ、相談支援体制、フォローアップ

▶ 既存の取組

- ・生活困窮者レスキュー事業（施設）
- ・貸付や生活困窮、いきいきネットなどの相談事業
- ・当事者組織、セルフヘルプ（社協）
- ・小地域ネットワーク活動（社協）
- ・民生委員活動（行政、社協）
- ・多様な主体による地域での活動
- ・そのほかの取組

行政ができること

社協ができること

施設ができること

視点3：「貧困（食・住・仕事）」に関する生活課題

【現状と課題の洗い出し】

行政や社協、施設で、地域とともにどんな取組をし、どんな課題が見えているか

▶ 課題

支える仕組みづくり、多機関協働の仕掛けや仕組み

▶ 既存の取組

- ・生活困窮者レスキュー事業（施設）
- ・貸付や生活困窮、いきいきネットなどの相談事業
- ・居住支援法人
- ・法人後見（社協、施設）
- ・フードバンク、フードドライブ（施設）
- ・学生支援（バイト、食料）
- ・中間的就労（施設）
- ・その他の取組

【研究】

行政からみた理想・課題
社協からみた理想・課題
施設からみた理想・課題

【目指すもの】

相談支援
▶ コーディネート役
▶ 協議の場
▶ アウトリーチのあり方
参加支援
▶ カンファレンス
▶ 就労・居住・食の支援
地域づくり
▶ 相談拠点のあり方

行政ができること

社協ができること

施設ができること

視点4：「健康・福祉」の文化や意識（価値）の醸成

【現状と課題の洗い出し】

行政や社協、施設で、地域とともにどんな取組をし、どんな課題が見えているか

▶ 課題

8050問題、詐欺被害、ヤングケアラー、若者（不登校・引きこもり）、フレイル、多文化共生、排除・差別、次世代（担い手）育成、発達障がい・高次脳機能障がい・認知症などの理解・・・など、健康・福祉の文化や意識の土台づくり

▶ 既存の取組

- ・ 行政の取組
- ・ 社会福祉協議会の取組
- ・ 地域貢献委員会（社協・法人）の取組
- ・ 社会福祉法人の取組
- ・ 地域の取組

【研究】

行政からみた理想・課題
社協からみた理想・課題
施設からみた理想・課題

【目指すもの】

相談支援
参加支援
▶ セルフヘルプ
▶ 当事者・多職種協働
▶ 情報
▶ 啓発（福祉教育）
地域づくり
▶ 場づくり
▶ 啓発（福祉教育）

行政ができること

社協ができること

施設ができること

(3) スケジュール

時期	実施事項
令和3年 3月	第1回【今後の進め方等】 1 構成員の取組紹介（行政、社協、施設） 2 進め方、論点・課題の抽出
○第1回研究会の結果を踏まえた内容整理 →主担：大阪府・府社協 ○これまでの取組成果のまとめ →主担：大阪府・府社協 ○アンケート（市町村と社福法人の協働の現状などに関する調査） →主担：大阪府・府社協、助言：奥西先生、川島先生 ○各構成員による提案作成 <u>→どの分野で、どのような内容の取組をおこなうべきか、このためにはどのような課題があるか。</u>	
5月～6月	第2回【現状・課題の抽出、検討】 1 これまでの取組成果の共有 →「取組成果のまとめ」提示 2 市町村、社会福祉法人双方の協働の現状や考え方の共有 →アンケートの集計結果を提示 3 今後の望ましい姿の共有→構成員による提案の提示 4 課題の抽出、共有
○第2回研究会の結果を踏まえた内容整理 →主担：大阪府・府社協	
8月	第3回【取組の方向性の検討】
○報告書案作成 →主担：大阪府・府社協・構成員（執筆分担部分）	
10月～11月	第4回【報告書完成】
—報告書の内容を市町村、社会福祉法人等へ展開—	

市町村向けアンケート（案）

（1）施設及び地域貢献委員会と連携・協働している取組

①視点ごとの既存の取組とその内容

「災害（時支援を見据えた平時からの取組）」

- ・取組内容及び連携・協働している施設名
- ・取組をはじめたきっかけ
- ・施設とつながった経緯
- ・取組で感じている課題
- ・課題解決に必要と考える体制、施策等

※「社会的孤立」、「貧困（食・住・仕事）」、「健康・福祉の文化や意識（価値）の醸成」についても上記と同様の質問を実施

※視点ごとで取組の重複は可とする。

②施設が参画するネットワークの有無

- ・福祉分野でのネットワークについて
「名称」、「参画メンバー」、「目的」、「開催回数・頻度」について
- ・（分かる範囲で記載）福祉分野以外のネットワークについて

（2）市町村社協と連携・協働している取組

（1）と同様

（3）今後、施設と連携・協働するとしたらどのような連携・協働が考えられるか

①包括的支援体制の構築に向けた連携・協働

「災害（時支援を見据えた平時からの取組）」

- ・包括的支援体制の中で担ってほしい役割
- ・連携・協働に向けた課題

※「社会的孤立」、「貧困（食・住・仕事）」
「健康・福祉の文化や意識（価値）の醸成」についても同様の質問を実施

②重層的支援体制整備事業を実施した場合、施設と連携・協働したい事業

- ・相談支援、・参加支援、・地域づくり支援
- ・多機関協働、・継続的支援（アウトリーチ）

上記のメニューごとに、どのような事業（役割）を担ってほしいか。

（4）市町村社協と連携・協働するとしたらどのような連携・協働が考えられるか

（3）と同様

（5）施設の公益事業（※1）に期待すること

- ・自由記述

（6）市町村社協及び地域貢献委員会（※2）に期待すること

- ・自由記述

（7）市町村社協及び施設との連携・協働への課題

- ・自由記述

※1 施設の公益事業の説明

※2 地域貢献委員会（施設連絡会）の説明

市町村社会福祉協議会向けアンケート（案）

<詳細の設問は市町村向けアンケート参照>

- (1) 市町村と連携・協働している取組
 - ①視点ごとに既存の取組とその内容
 - ②社協が参画している市町村ネットワークの有無
- (2) 施設及び地域貢献委員会と連携・協働している取組
 - ①視点ごとに既存の取組とその内容
 - ②施設が参画するネットワークの有無
 - ・地域貢献委員会
 - ・地域貢献委員会以外
- (3) 今後、施設と連携・協働するとしたらどのような連携・協働が考えられるか
 - ①包括的支援体制の構築に向けた連携・協働
 - ②市町村が重層的支援体制整備事業を実施した場合、連携・協働したい事業
- (4) 市町村に期待すること
 - ・自由記述
- (5) 施設の公益事業及び地域貢献委員会に期待すること
 - ・自由記述
- (6) 市町村及び施設、地域貢献委員会との連携・協働への課題
 - ・自由記述

地域貢献委員会向けアンケート（案）

<詳細の設問は市町村向けアンケート参照>

- (1) 市町村と連携・協働している取組
 - ①視点ごとに既存の取組とその内容
 - ②地域貢献委員会への市町村の参画状況
- (2) 市町村社協と連携・協働している取組
 - ①視点ごとに既存の取組とその内容
- (3) 今後、市町村と連携・協働するとしたらどのような連携・協働が考えられるか
 - ①包括的支援体制の構築に向けた連携・協働
 - ②市町村が重層的支援体制整備事業を実施した場合、連携・協働したい事業
- (4) 市町村に期待すること
 - ・自由記述
- (5) 市町村社協に期待すること
 - ・自由記述
- (6) 施設の公益事業に期待すること
 - ・自由記述
- (7) 市町村及び市町村社協との連携・協働への課題
 - ・自由記述

社会福祉法人（施設）向けアンケート（案）

<詳細の設問は市町村向けアンケート参照>

- (1) 市町村と連携・協働している取組
 - ①視点ごとに既存の取組とその内容
 - ②貴施設が参画している市町村ネットワークの有無
 - ・福祉分野
 - ・福祉分野以外

- (2) 市町村社協と連携・協働している取組
 - ①視点ごとに既存の取組とその内容
 - ②貴施設が参画するネットワークの有無
 - ・地域貢献委員会
 - ・地域貢献委員会以外

- (3) 今後、市町村と連携・協働するとしたらどのような連携・協働が考えられるか
 - ①包括的支援体制の構築に向けた連携・協働
 - ②所在市町村が重層的支援体制整備事業を実施した場合、連携・協働したい事業

- (4) 市町村に期待すること
 - ・自由記述

- (5) 市町村社協に期待すること
 - ・自由記述

- (6) 地域貢献委員会に期待すること
 - ・自由記述

- (7) 市町村及び市町村社協との連携・協働への課題
 - ・自由記述